

## 第 42 回 新潟精神医学懇話会

医療法人水明会佐潟荘 医局

平成 29 年 6 月 20 日、第 42 回 新潟精神医学懇話会(場所：新潟グランドホテル、共催：大塚製薬株式会社)に副院長の佐藤が参加しました。一般講演は、新潟大学大学院医歯学総合研究科 精神医学分野 恩田啓伍先生による「抗精神病薬により自傷行為が軽減した自閉スペクトラム症の使用経験とそのメカニズムの考察」、特別講演は、慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室の専任講師 岸本泰士郎先生による「情報通信技術や機械学習を用いた新しい精神科領域における試み」でした。特別公演は、今あらゆる分野で応用が急がれている AI を含めた最先端のお話ばかりで圧倒されましたが、その一つとして Telepsychiatry(精神科領域における遠隔医療)のお話がありました。強迫症(強迫性障害)の患者さんに対する心理的治療である曝露反応妨害法(例えば手の洗浄強迫であれば、手を洗わないよう指示して、その際に強く出る不安を我慢してもらうことで、不安状態がいつまでも続かないことを実感してもらう)を、インターネット回線を用いたテレビ電話を介して Doctor to Patient(直接医師が患者さんを診て治療を行う)に御自宅で行えるようにし、高い治療成績をあげているのがとても印象的でした。洗浄強迫等の強迫症状は御自宅で顕著であることが多く、そこに直接介入することで効果が上がるとのことでした。